

令和3年度 自己評価書

学校名	和歌山市立貴志中学校
校長氏名	高木 敏博
作成日	令和4年3月1日

1 教育目標

豊かな心情と思いやりの心を持ち、自ら考え、ねばり強く実践する生徒を育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた学習環境づくり 生徒一人一人を大切に授業づくり 全国学調生徒質問紙において「わかる授業(国語・数学)」を8割以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動の活性化を図り自主的な心を育む。 いじめの早期発見を徹底的に行う。 全国学調生徒質問紙において「いじめは、どんな理由があってもいけない事だと思いますか」を100%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における学校生活において、常に自らの健康と他者の安全を守る意識を育む。 全国学調生徒質問紙において「人の役に立つ人間になりたい」を9割以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学調生徒質問紙において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」において県・国の調査結果に近づける。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導及びより良い学習環境づくり 基礎基本の確実な定着 新学習指導要領に向けた授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実 いじめのない集団づくり 規範意識の向上 体験活動等で豊かな心の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立 体力の向上 情報モラルの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「貴志の教育を高める会」活動に充実 家庭、地域との連携充実 学校運営協議会との連携充実 共育コミュニティとの連携充実
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> 学習形態の工夫 授業改善の推進 学生ボランティア活動の充実(コロナ禍のため年度途中で中止) 朝学の徹底 家庭学習の推進 授業改善のための外部講師の招聘 	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートを複数回行い、その後の教育相談で未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。 道徳教育推進教師を中心に道徳教育の活性化を図る。 より良い学級集団づくりのため、QUの活用を図り、外部講師を招聘する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生徒指導だより」等を通じて、生徒への基本的生活習慣を促す。 体育的行事の充実を図ると共に計画的に体力の向上を目指す。 適宜に情報モラル教室を行い危機回避能力を育成する。 県警によるキッズサポートにより規範意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、保健便り、貴志中の輝き、学年便り、学級通信等による保護者や地域への情報発信。 「貴志の里展」を通して、地域との絆を更に深める。 学校運営協議会を通じて地域と連携を密にする。
取組の成果と課題(評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業(7名の教員)を実施し、その後の現職教育で意見交換。また、外部講師を招聘して授業改善に取り組んだ。 コロナ禍であるため分散による参観であった。 授業改善は学校全体の統一性にやや欠けた。 指標のアンケート結果⇒国語: 90.4%・数学: 80.5% 	<ul style="list-style-type: none"> QUを最大限に活用するために外部講師を招聘し全教職員で取り組んだ成果が出たように思う。 昨年度に比べ、朝の挨拶運動は活性化しつつある。更に充実させたい。 指標のアンケート結果⇒99.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度、防災訓練を3回行ったことは、生徒への防災意識を高めるのに効果があった。 全職員で授業中の巡回等を繰り返したことで昨年度より生徒の規範意識が高まった。 指標のアンケート結果: 94.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 「ぐるりんメール」により保護者宛の配布物をその都度活用した。 小学校、子ども会との交流及び連携をスムーズに図ることができた。そして、生徒理解を一層深めることができた。 指標のアンケート結果: 33.5% (県: 42.7% 国: 43.8)
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の初年度のため、現職教育を通じて全教職員の方針性を一つにする。 別室(ステップルーム)登校生徒への更なる配慮を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> QUの取り組みを年度当初に行い「より良い学級集団づくり」に取り組む。 コロナ禍の中での学校生活を更に活性化させる。 生徒会主催の「挨拶運動」を更に活性化させ豊かな心の育成に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を行う際には、生徒への意識づけを更に向上させたい。また、地域のハザードマップ作製にも取り組む。 SNS上のトラブルが頻繁に発生した。そのため事前防止、早期発見に努める。 行事の精選を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ぐるりんメール」を更に活用する。 生徒の地域活動への参加を更に拡大できるように取り組む。 共育コミュニティの活動を更に周知活用できるように取り組む。

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> 年度当初、新学習指導要領の内容と共に評価基準についての現職教育を実施し全教職員による共通理解を図る。 ステップルームを活用し不登校生徒への対応を更に充実させる。 生徒指導上の問題行動を繰り返す生徒への指導の在り方及び保護者、関係機関等との連携を更に強化する。 今年度、学校司書が来校して図書ホールを改善してくれました。今後、生徒の読書離れを阻止するように図書ホールの充実を図りたい。
--